

H-2236型

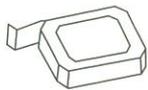
製品寸法(パイプ中心値)

間口 約2.2m×高さ 約2.0m×奥行 約3.6m

No.	品名	数量	規格	形状	No.	品名	数量	規格	形状
Aケース									
①	アーチ用パイプ	5	19×146S cm		⑬	Tバンド	10	19×19	
②	アーチ用パイプ	5	19×140 cm		⑭	フックバンド	9	19×19	
③	脚用パイプ	12	19×166SP cm		⑮	Tバンド (袋ナット)	8	19×19	
④	横通し用パイプ	3	19×180 cm		⑯	掛金	1	19Ø	
⑤	横通し用パイプ	3	19×180S cm		⑰	蝶板	2	19Ø	
⑥	扉用パイプ	2	19×180 cm		⑱	ロングパッカー	3	19用	
⑦	扉用パイプ	4	19×75cm		⑲	パッカー	40	19用	
⑧	前柱用パイプ	2	19×75cm		⑳	天幕ビニール	1	3.3×6.5m	
⑨	前面横用パイプ	2	19×47cm		㉑	側幕ビニール	1	1.5×12m	
⑩	前面横用パイプ	1	19×79cm		㉒	扉ビニール	1	2.0×1m	
⑪	後面横用パイプ	1	19×185 cm		㉓	Rバンド	1	30m	
⑫	ユニバーサルジョイント	6	19×19		㉔	プラ杭	4		

必要な工具を準備してください。

ケースにも寸法測定用スケールが印刷してあります。



メジャー
(寸法測定用)



マジック
(パイプ印付け用)



ハサミ
(バンド/ビニールカット)



プライヤー
(部品取り付け)



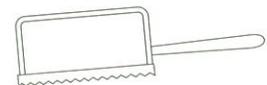
プラスドライバー
(部品取り付け)



スコップ
(整地用)



軍手



金ノコ、又は鋸
(部品カット用)



菜園ハウス

H-2236



H-2236

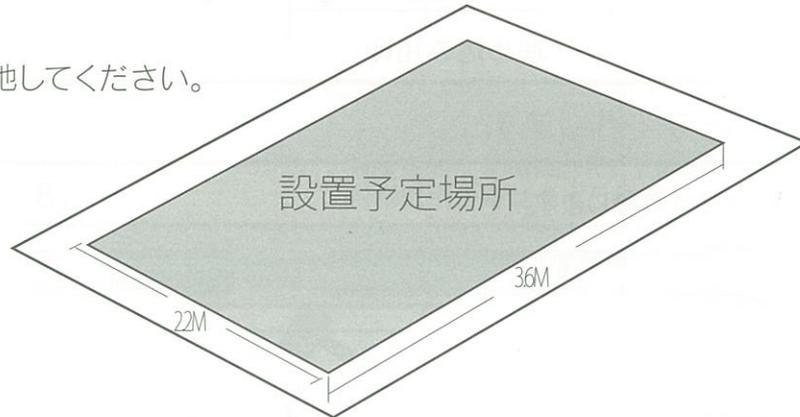
組立説明書

保存

【2004】

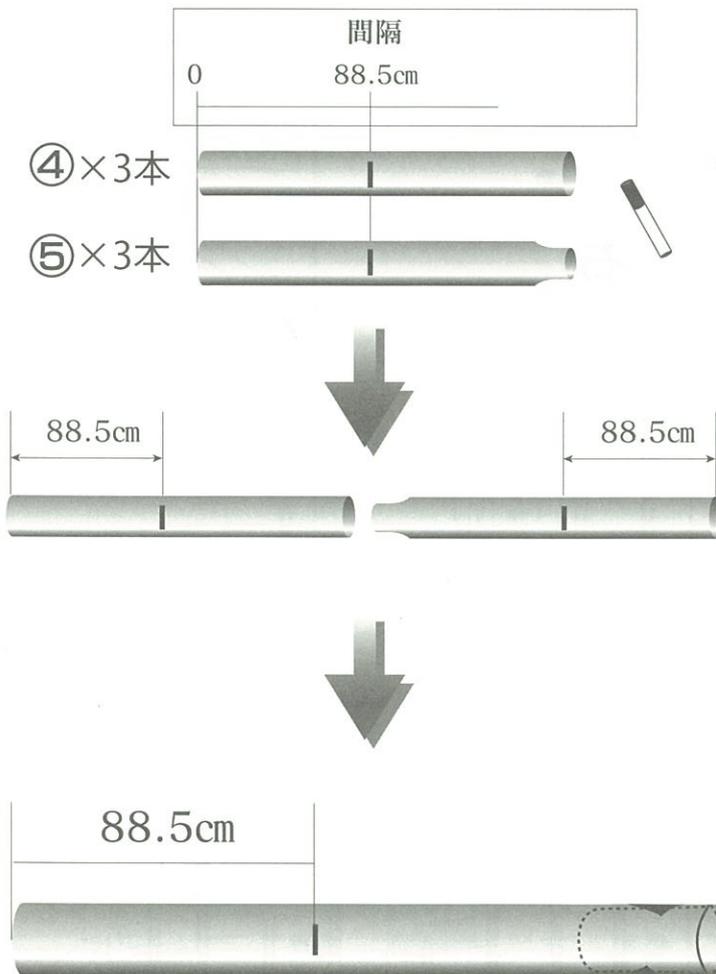
- ※組立前に別紙『安全上の注意』をお読みください。
- ※組立前に別紙『部材一覧』で部材確認をしてください。
- ※組立前に設置予定場所を整地してください。

作業性を考えて広めに整地してください。

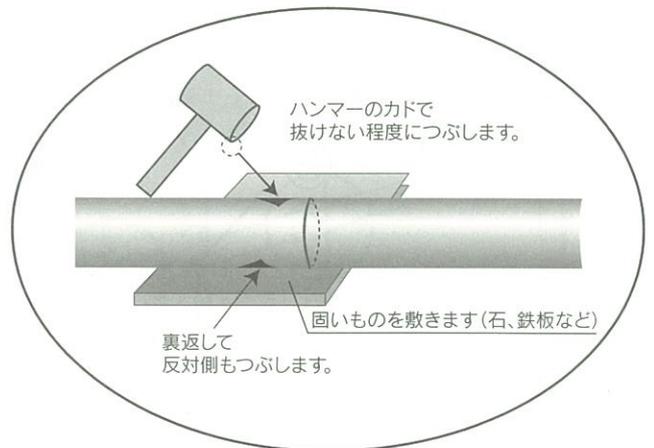


1 横通し用パイプを組みます。

- ④、⑤ を準備します。



! パイプ1本につき、印は1ヶ所です。
マジックで6本に、印をつけます。



! 全ての継ぎ目を抜けない様につぶしてください。
(完成後、風などの揺れで、抜ける事が有ります。)

3組

2

脚用パイプに印を付けます。

- ③を10本準備します。

マジックで印をつけます。



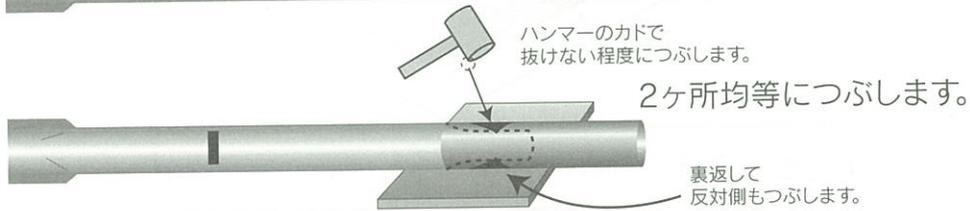
ケース表面スケール：
埋め込み位置／横通し位置

40cm
埋め込み用印

3

前柱用パイプを作ります。

- ③を2本、⑧を2本準備します。

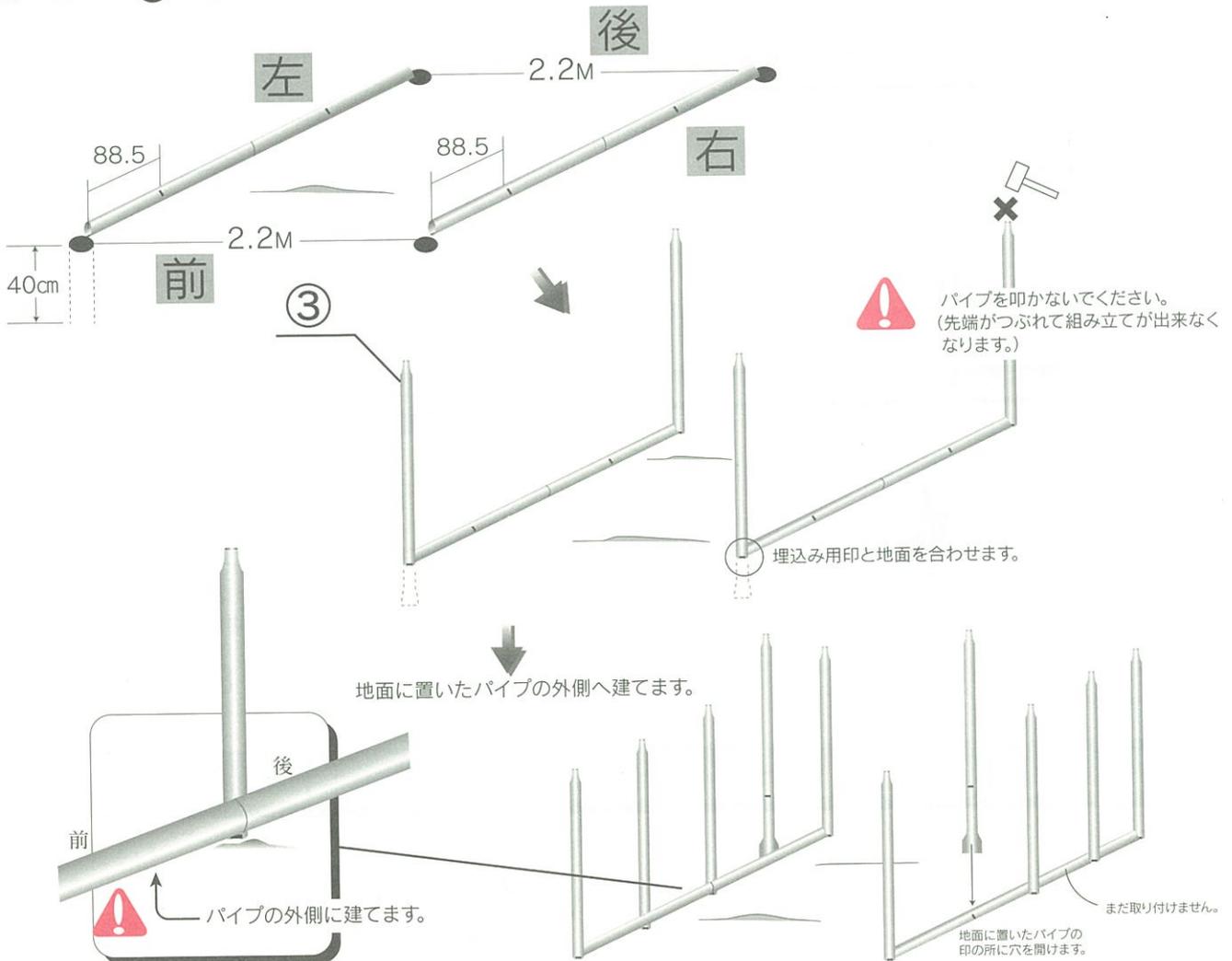


※継ぎ目をしっかり差し込み、中心を抜けない程度につぶします。その時、下に固いものを敷いてください。

4

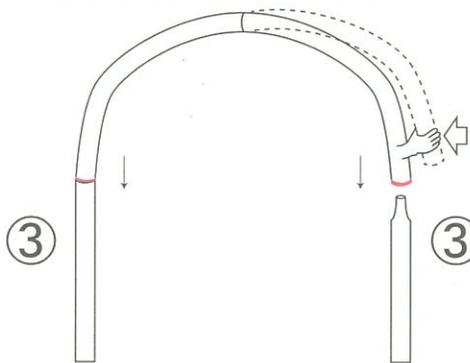
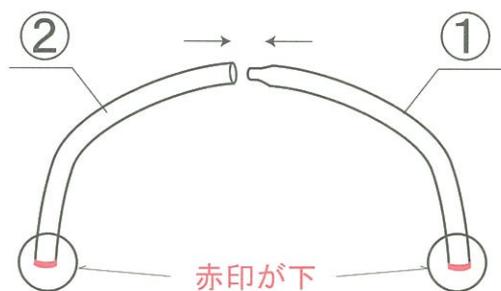
脚用パイプを建てます。

前の方から①で付けた印が左右対象になる様にパイプを置き、パイプの四隅に約40cmの穴を掘ります。



5 アーチ用パイプを組み、脚用パイプに差し込みます。

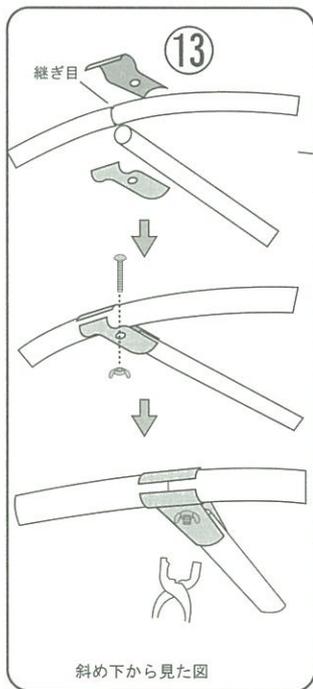
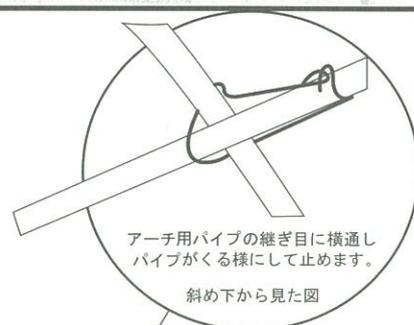
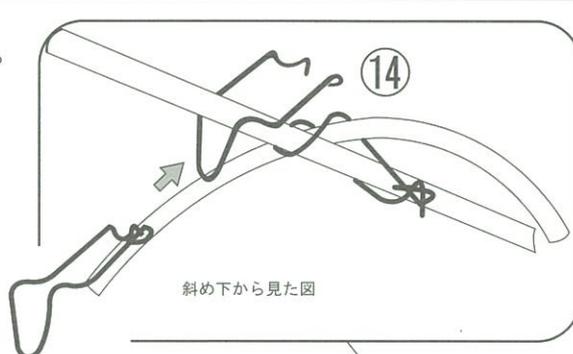
①, ②を準備します。



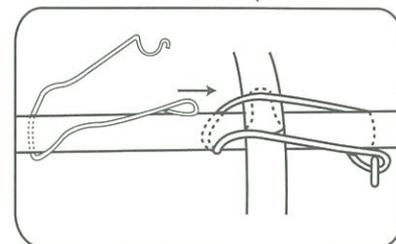
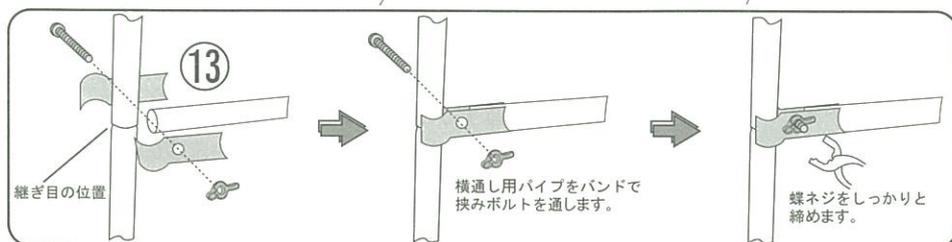
強度をもたす為に、パイプに張りがありますので内側に引き寄せるように差し込んでください。

6 横通し用パイプを取り付けます。

⑬を6個、⑭を9個準備します。



内側から見た図



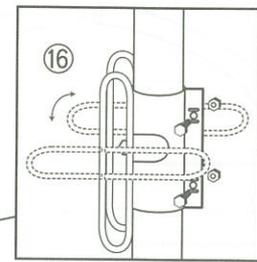
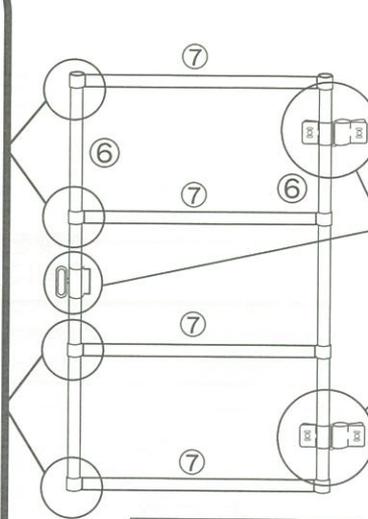
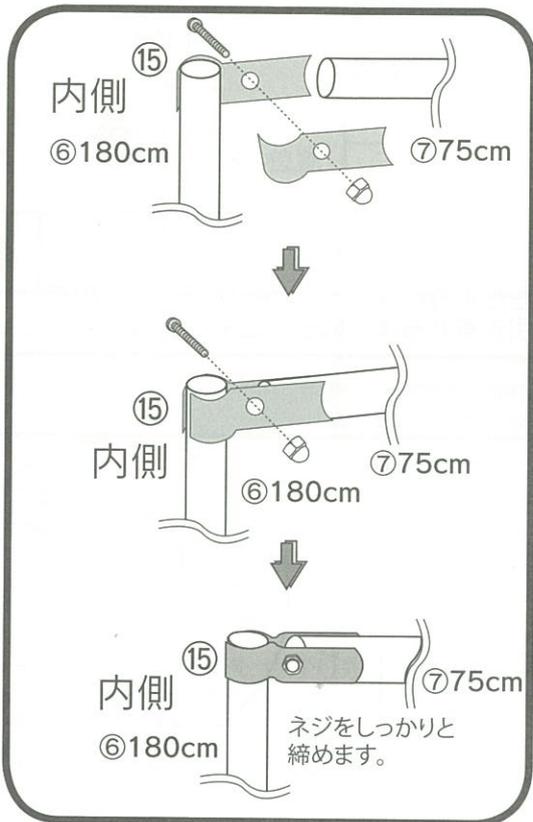
外側から見た図



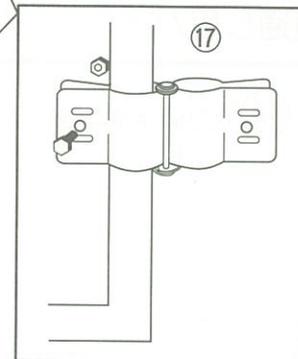
ビニール保護の為、蝶ネジが内側になる様に取り付けます。

⑥、⑦、⑮、⑯、⑰を準備します。

扉骨組を下図のように組立て、蝶番と掛金を取り付けます。



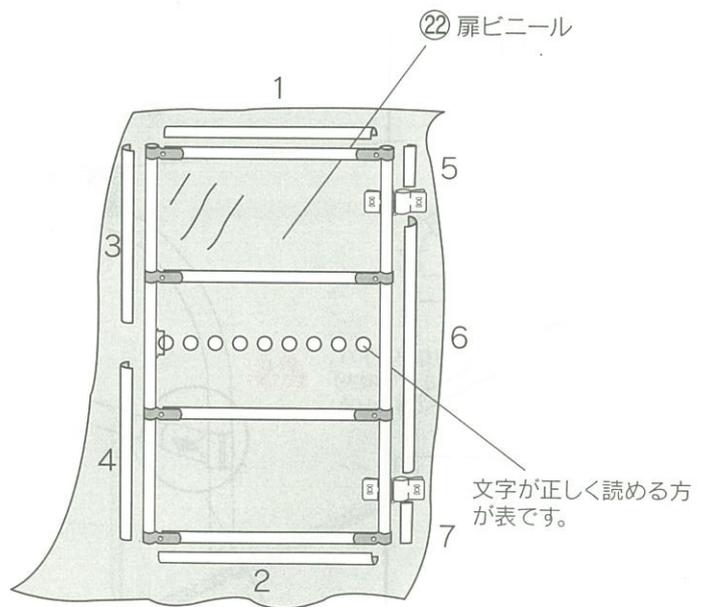
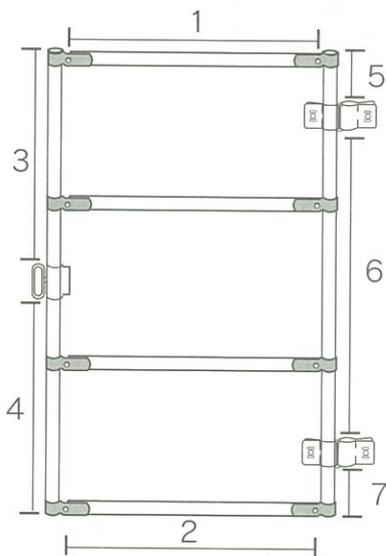
掛金
取り付け図



蝶番
取り付け図

(外側から見た図)

⑱を3本準備します。



⑱ ロングパッカーを各1~7の寸法に金ノコノコギリでそれぞれ切ります。



- ⑱は、カッターで無理に切ろうとすると非常に危険ですので絶対にカッターでの作業はしないでください。
- 金ノコノコギリ使用の際は、ケガをしないよう注意してください。



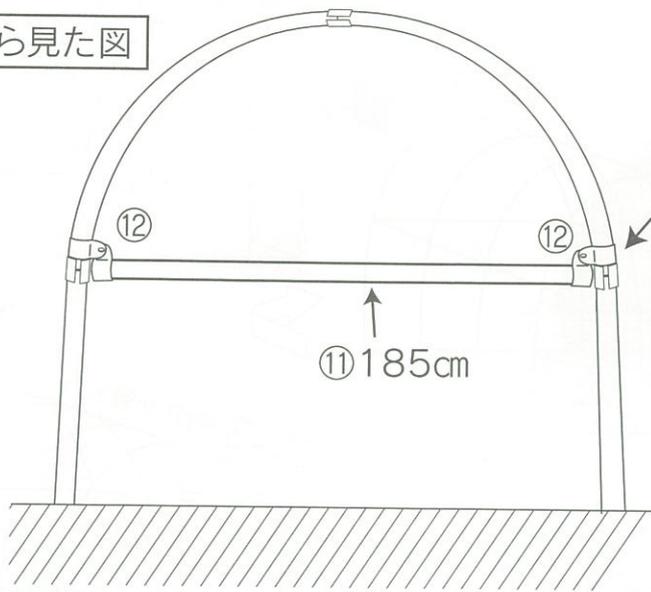
- ⑱は1回で取り付ける様に止めてください。(何回もやり直すとビニールが破れます。)
- ⑱は、はずれにくい様にきつくなっていますので、外側から同様に抑え込む様に取り付けます。

- ピンと張りながら、各数字の順番に取り付けます。(あまり強く張りすぎると取り付けにくいです)
- 風などによりはずれない様にキツくなっています。
- 取り付け、取り外しを何回もされるとビニールが破れますので注意してください。

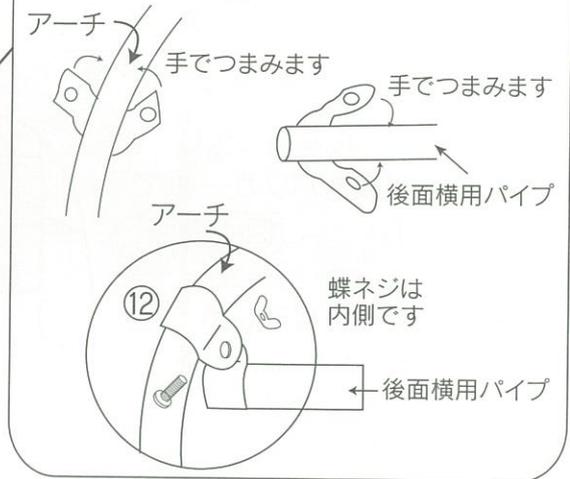
8 後部用パイプを組立てます。(出入口ではありません)

⑪を1本、⑫を2個準備します。

後から見た図



作業手順



9 前部用パイプを組立てます。

- 1 ⑨を2本、⑩を1本、⑫を4個、⑬を4個、⑦で組立てた扉、③で組立てた前柱用パイプ2本を準備します。
- 2 右図のように間口の中心と扉の中心を合わせて扉の両端より3cmのところ、40cmの穴を掘ります。
※正確に作業してください。扉が取り付けられなくなります。
- 3 ③で組立てた前柱用パイプを2本建て、ユニバーサル⑫で止めます。(A部2ヶ所) 図-2参照
- 4 ⑨2本を⑫、⑬で取り付けます。図-3、4参照
- 5 扉を地面から約2cm浮かせて右前柱用パイプに取り付けます。(E部2ヶ所) 図-5参照
- 6 ⑩を扉の開閉に支障がない間隔(高さ)に取り付けます。(D部2ヶ所)(図-3 C部作業手順)と同じです。

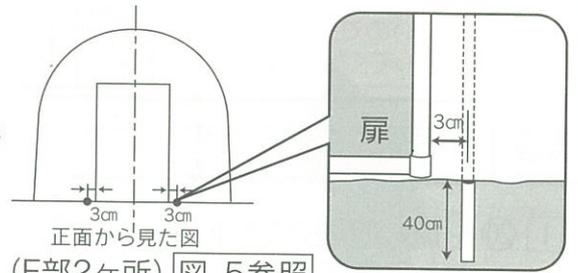


図-2 A部作業手順

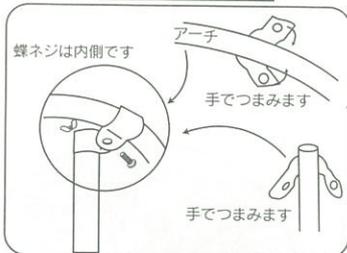


図-3 C・D部作業手順

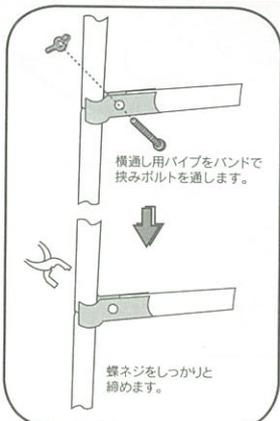


図-5

E部取り付け図

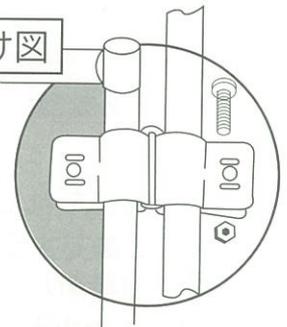


図-4 B部作業手順

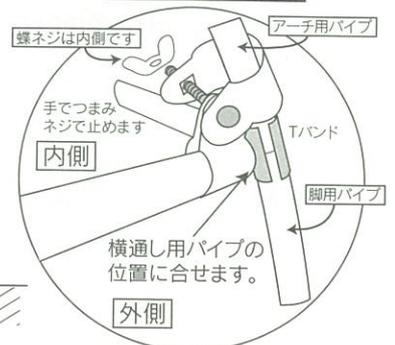
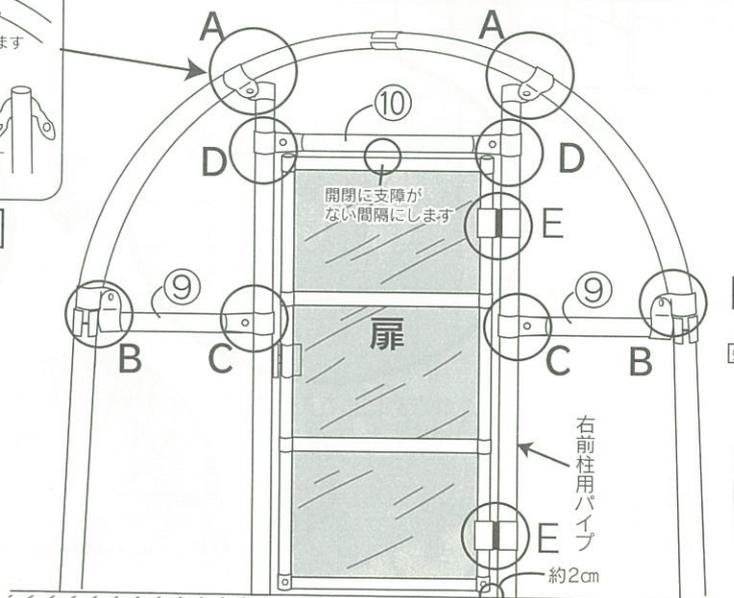


図-1 正面から見た図



10

側幕ビニールを張ります。

1 ⑳を1枚、㉑を20個準備します。

2 右図のように前柱用パイプ片方から、側幕ビニール⑳をパッカー㉑で止めます。
[図-1参照]

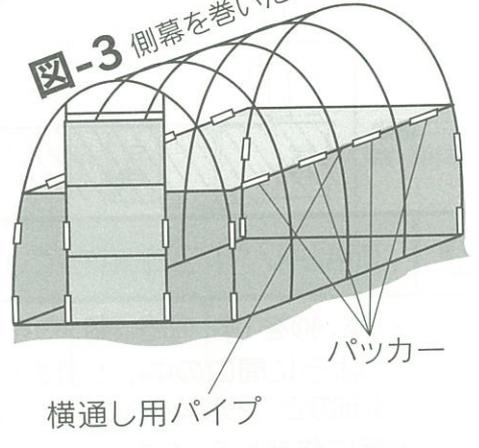
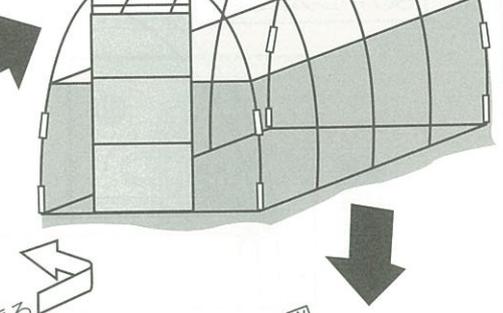
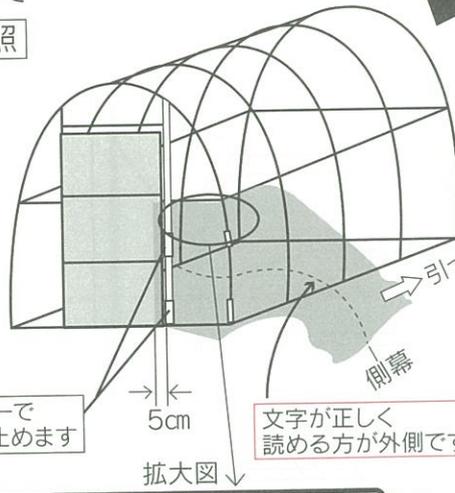
3 側幕ビニールを引っ張りながら四隅をパッカー㉑で止めます。
[図-2参照]

4 右図のように横通し用パイプと側幕ビニールをパッカー㉑で止めます。
[図-3参照]

図-2

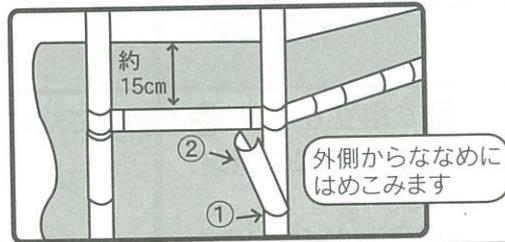
図-1

図-3 側幕を巻いた図



注意

- ・作業をする前に周辺を整理してビニールが傷つかないようにしてください。
- ・ビニールを引っ張る際は傷つきやすいので引きすぎないようにしてください。



11

天幕ビニールを張ります。

1 ㉒を1枚、㉑を20個準備します。 [図-1]

2 天幕ビニール㉒を前後左右均等になるようにかぶせます。
[図-1参照]

文字が正しく読める方が外側です

3 ハウス後部にたれた天幕ビニールを中心にまとめるように軽く引っ張り、ハウス後面横用パイプ⑪にパッカー㉑を使って中央から天幕ビニールと側幕ビニールを重ねて止めていきます。このときパッカー㉑は5個使います。
[図-2参照]

4 後面横用パイプ⑪より約10cm下で天幕ビニールをはさみで切ります。
[図-3参照]

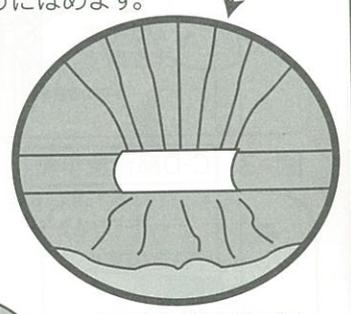
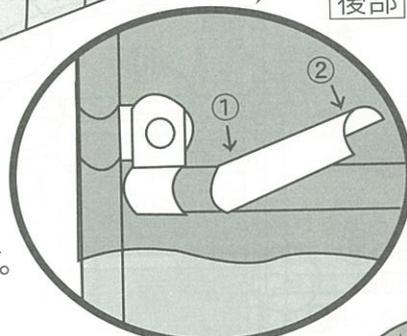
パッカー5個

図-2

後面横用パイプ

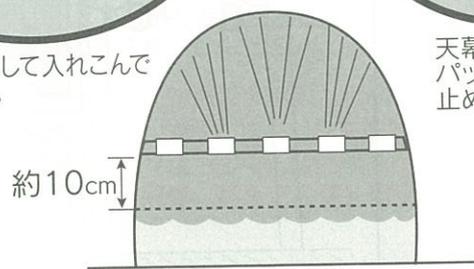
拡大図

後部 中央から左右対称になるようにはめます。



ななめにして入れこんでいきます。

天幕を出るだけパッカーに集めて止めます。



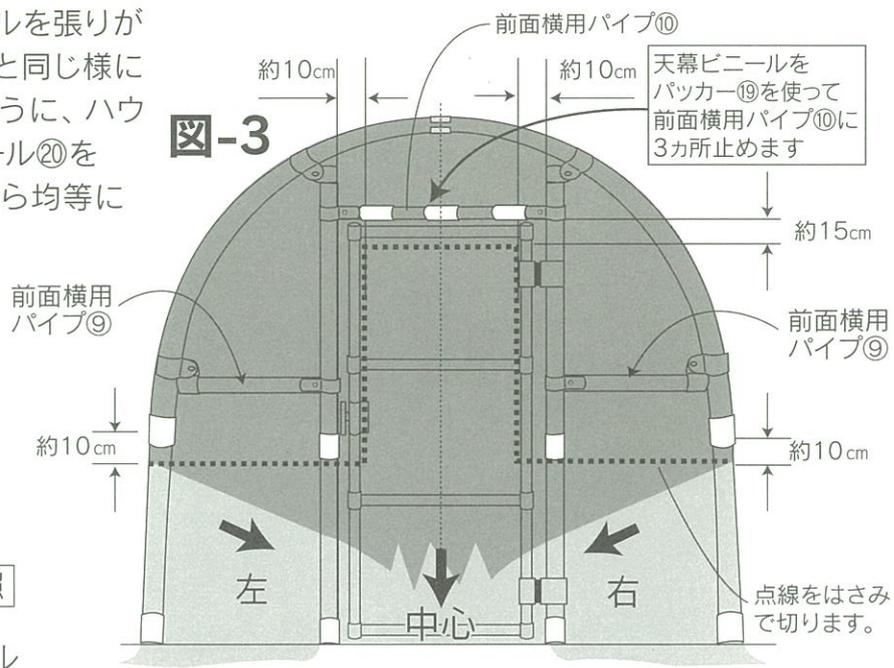
・パッカーで止めた後ビニールを切ります。

図-3

11 のつづき

5 図3ハウス前部中心で天幕ビニールを張りが
 できるだけ引っ張り、ハウス後面と同じ様に
 天幕ビニールを中央にまとめるように、ハウ
 ス前面横用パイプ⑩と天幕ビニール⑳を
 パッカー⑲3個を使って中央部から均等に
 止めます。 図-3参照

図-3

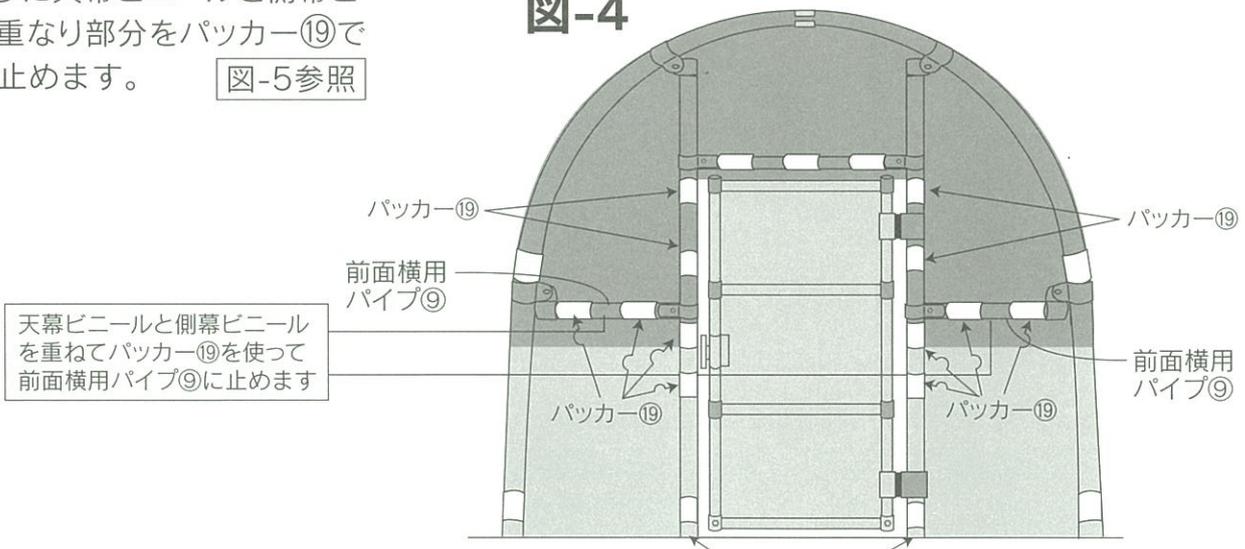


6 図3の点線の部分をはさみで
 切ります。

7 天幕ビニールを下へ引っ張り
 ながら前面横用パイプ⑨に
 パッカー⑲を使って天幕
 ビニールと側幕ビニールを
 一緒に止めます。 図-4参照

8 左右前面横用パイプと天幕ビニール
 をパッカーで止めます。 図-4参照

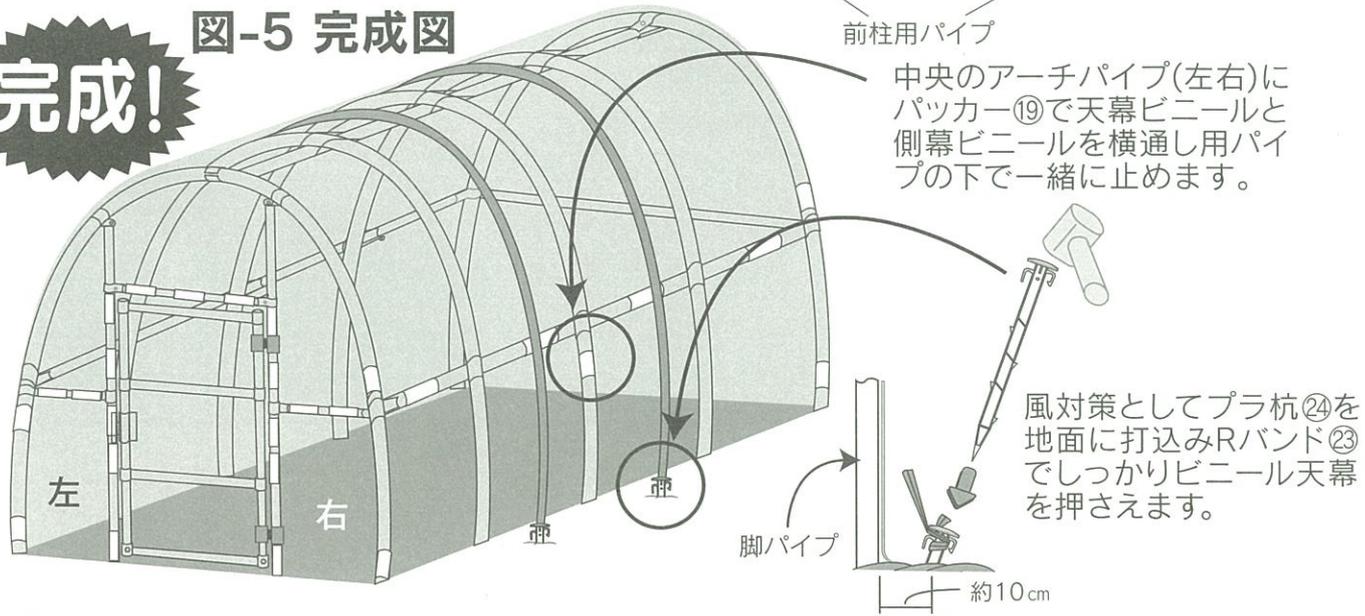
図-4



9 図5のように天幕ビニールと側幕ビ
 ニールの重なり部分をパッカー⑲で
 アーチに止めます。 図-5参照

図-5 完成図

完成!



安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷^{*1}を負う可能性が想定される内容」を示しています。

※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必要となっております。固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。置くだけの設置は絶対に行わないでください。

また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まっている場合、アンカーを打つ場所に、先に下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要となります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置をしてください。

禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。このような場所には絶対に設置しないでください。

禁止 風が強い場所への設置

強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

禁止 シートを張る作業について

弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどで換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意ください。

禁止 危険物の貯蓄禁止

危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

禁止 換気にご注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

注意

この項目は「人が傷害^{*2}を負う可能性が想定される内容や、物的傷害^{*3}の発生が想定される内容」を示しています。

※2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。

※3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

注意 パイプに物を掛けない。

構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

注意 強風の場合

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シート・ビニール・ネット等を外し、畳んで収納してください。

注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、随時雪降ろしを行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内部に入る前に、必ず雪降ろしを行ってください。

注意 仕様変更

商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要性があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

注意 降雨後のお手入れ

雨が降った後などシートに水がたまった場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまったままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文ください。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管してください。